

平成29年3月

# 巻石通りバリアフリー計画【概要版】

文京区 土木部 道路課

## 1. 策定経緯

巻石通り(区道第889号)は、道路横断方向の地形的な高低差が大きく、これまで実施してきた部分的な対策ではバリアフリー化が困難であるため、平成28年度に路線全体で検討を行い、「巻石通りバリアフリー計画」を策定しました。

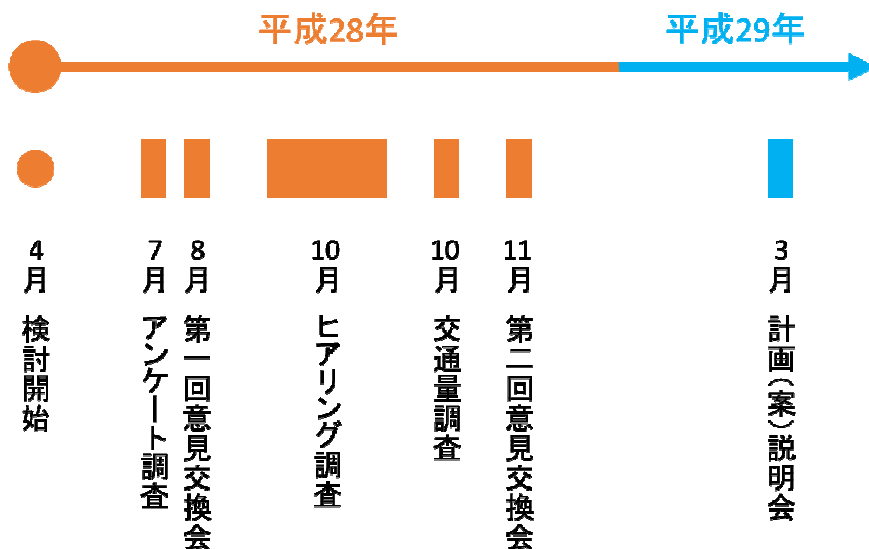


図1-1 策定のスケジュール

## 2. 計画区間

音羽通りから安藤坂交差点までの全長1.4km(平均幅員12m)の区間を対象としました。



図2-1 位置図

### 3. 現道状況

計画区間の道路平均幅員は12.0m(車道の平均幅員:7.0m、歩道の平均幅員:2.5m×2)となっています。

道路の左右高低差は平均高低差約45cm、最大高低差87cmとなっています。

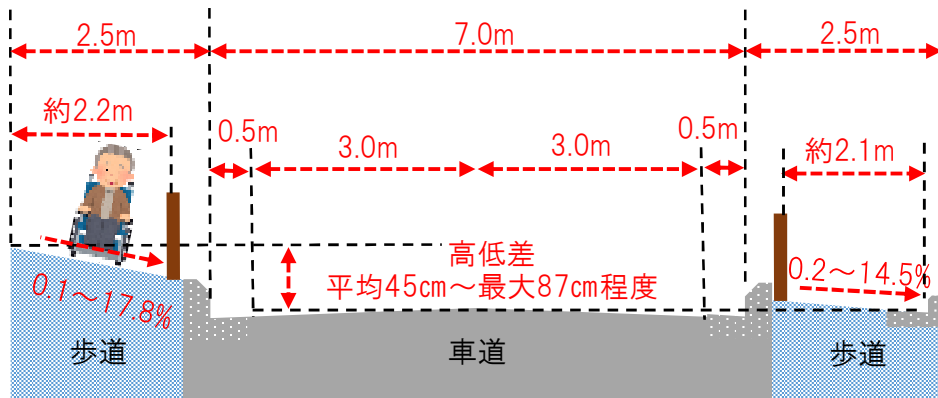


図3-1 現況の標準横断面

### 4. “巻石通りのバリアフリー整備に関するアンケート”集計結果

沿道住民・事業所を対象に1600部アンケートを配布し484部の回答を頂きました。(回収率:30.3%)

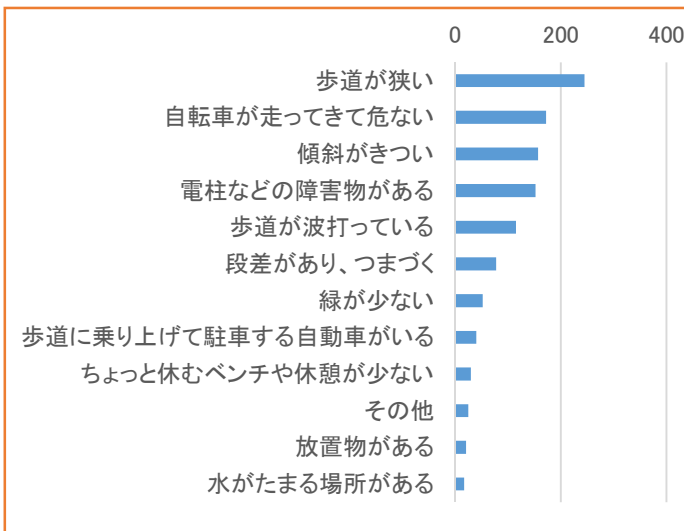


図4-1 歩道を利用する際に不満に思う点

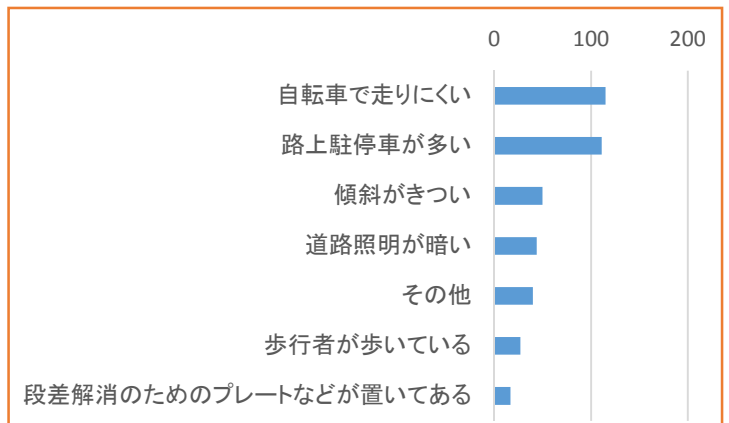


図4-2 車道を利用する際に不満に思う点

文京区の道路整備事業に関する、ご意見・ご要望 (抜粋)



電柱が非常に邪魔でかつ危険である。早く地中化してほしい。

信号が赤の時に人や自転車がたまる場所を広く取ってほしい。



歩道が狭いと高齢者は付添い人と並んで歩けませんし、傾斜で杖が滑ります。



毎日ベビーカーで通りますが、傾斜がきついので、常にハンドルを切って片側の前輪が浮いた状態で不便です。



図4-3 巻石通りを整備する際に大切と思うこと

## 5. 最適案に住民意見を反映した基本計画図

最適案に住民意見を反映した基本計画図を以下に示します。

### 整備方針

- ・車いす同士のすれ違いができるよう歩道の有効幅員2m以上を確保します。
  - ・歩道を通行しやすくするため、歩道の勾配を1～2%にします。
  - ・視覚障害者誘導用ブロックを連続設置します。
  - ・車道の勾配を6%以下にします。
  - ・路肩幅を片側あたり0.5mから0.25mに縮小します。
- また、実施にあたり図5-1および図5-2の排水施設や舗装を検討します。



写真 視覚障害者誘導用ブロックの例

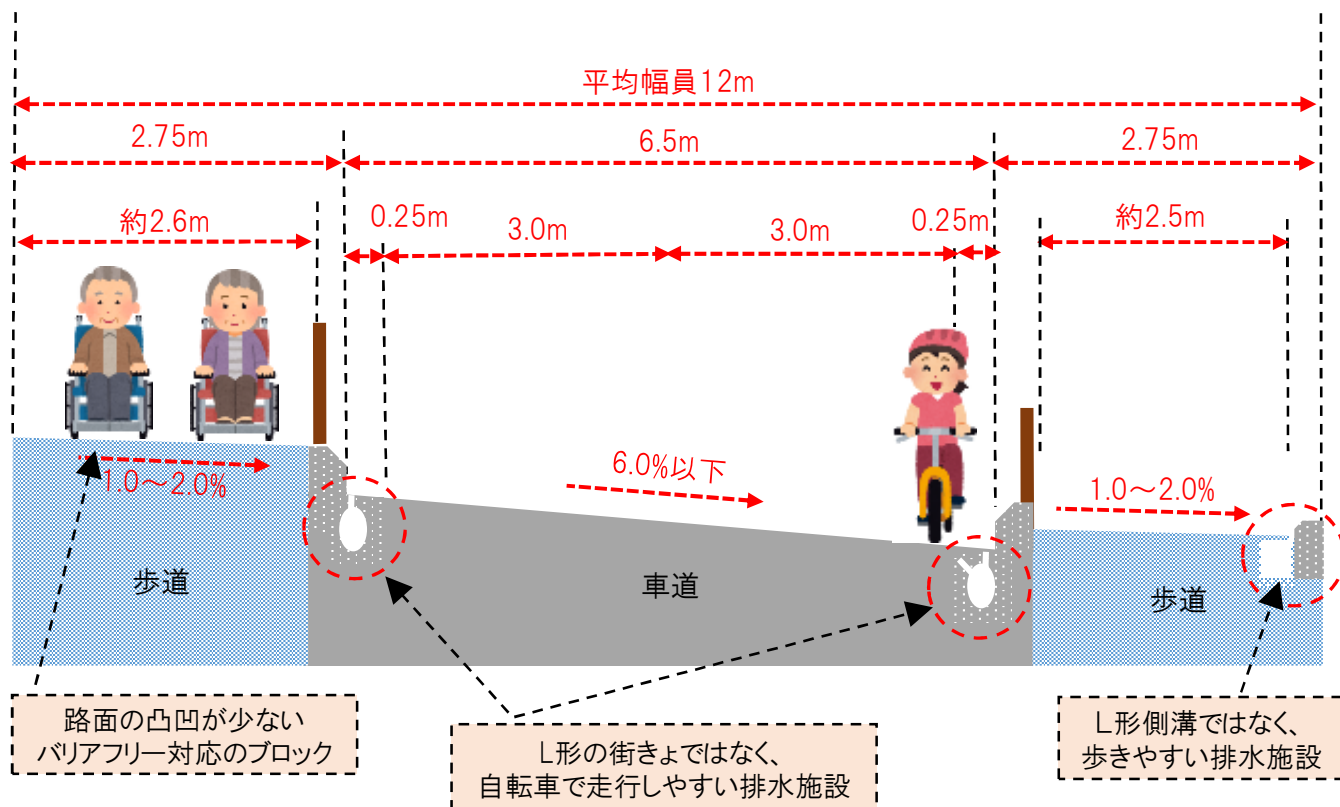


図5-1 計画の標準横断面図

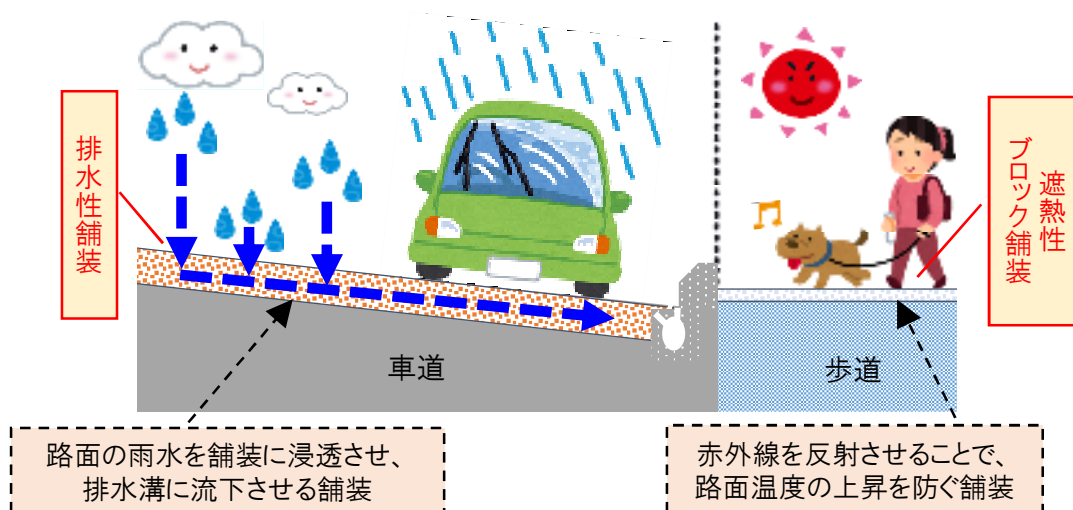


図5-2 舗装について

## 6. 計画の実現に向けて

### 6.1 工区割り予定

バリアフリー整備工事としては、文京総合福祉センターのある、音羽通り側を起点として8工区に分けます。交差点部を基本として工区割を決定しました。

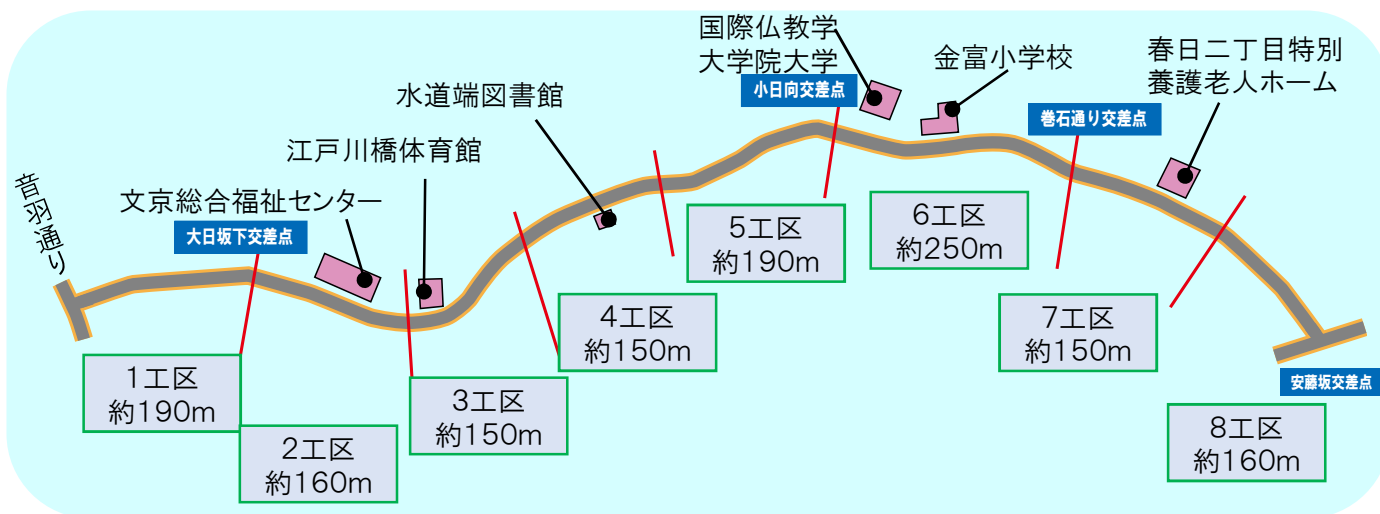


図6-1 工区割り予定

### 6.2 整備スケジュール

平成29年度より関係機関協議や実施設計を進め、完了次第工事へ移ります。バリアフリー工事としては、1工区1年で8年程度を予定しています。

表6-1 整備スケジュール

整備年度	整備内容	整備区間	整備延長
平成29年度～	関係機関協議 道路実施設計	全 線	1,400m
1年目	バリアフリー工事	目白通り ～ 大日坂下交差点	190m
2年目		大日坂下交差点 ～ 江戸川橋体育館前	160m
3年目		江戸川橋体育館前 ～ 石原医院前	150m
4年目		石原医院前 ～ 稱名寺前	150m
5年目		稱名寺前 ～ 小日向交差点	190m
6年目		小日向交差点 ～ 巻石通り交差点	250m
7年目		巻石通り交差点 ～ 安藤坂下交差点(1)	150m
8年目		安藤坂下交差点(1) ～ 安藤坂下交差点(2)	160m

※無電柱化については別途検討を予定しています。

無電柱化の検討結果により、スケジュールは変更する可能性があります。